

3 ADSL

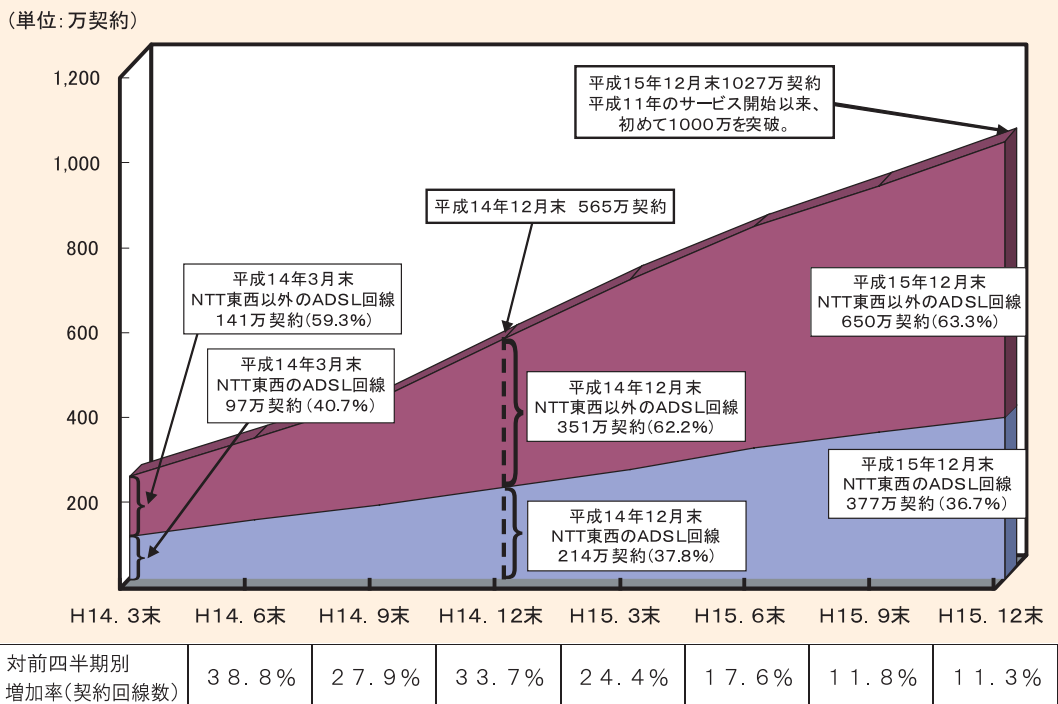
第1章

3-1 ADSLの契約回線数の推移

ADSLの契約回線数は、平成11年12月のサービス開始以来、4年で1000万を突破。平成15年12月末の契約回線数は1027万となり、対前年同月と比較して462万増加している。四半期毎の増加率は、平成15年10月～12月期は11%で増加基調は変わらないものの、平成14年10月～12月期以降はその幅は低下を続けている。

ADSL契約回線数の推移		平成14年12月末 (①)	平成15年12月末 (②)	増加数 (②-①)
ADSL契約回線数		565万	1027万	462万
(内訳)	NTT東西	214万	377万	163万
	NTT東西以外	351万	650万	299万

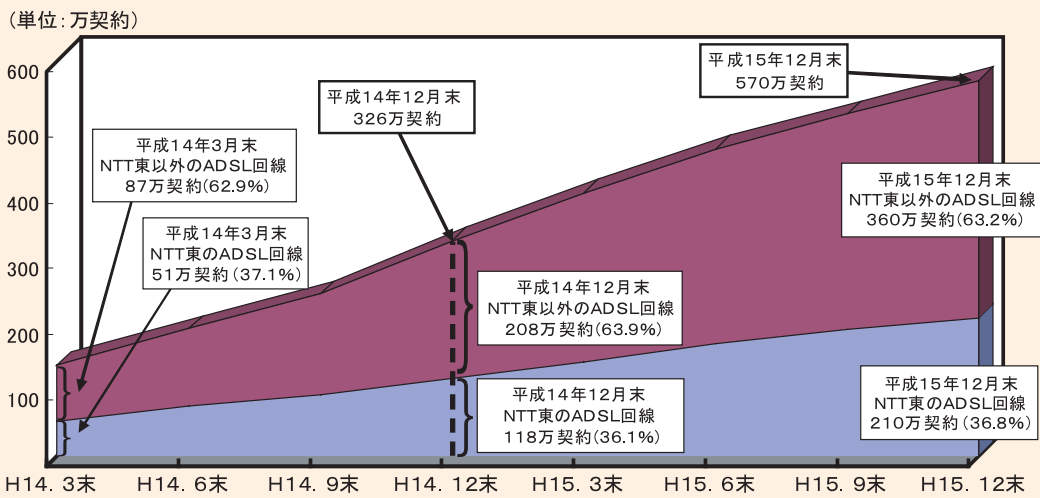
○ ADSLの契約回線数の推移



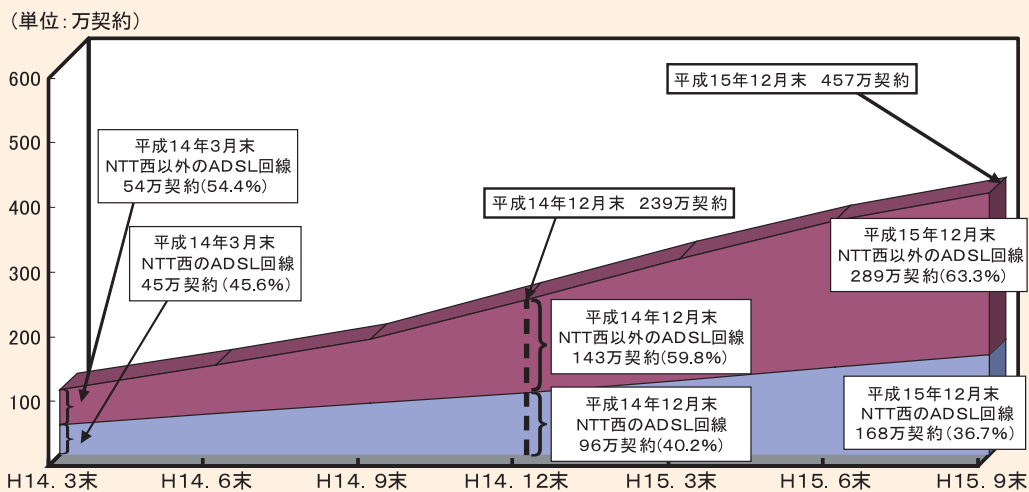
3-2 ADSLの東日本／西日本別契約回線数の推移

ADSLの東日本／西日本別契約回線数は、平成15年12月末現在で東日本地域570万、西日本地域457万。

○ 東日本地域 (NTT東日本の業務区域) の契約回線数の推移



○ 西日本地域 (NTT西日本の業務区域) の契約回線数の推移



(※1) 総務省の公表資料に基づき作成。

(※2) NTT東日本、NTT西日本の業務区域は次のとおり。

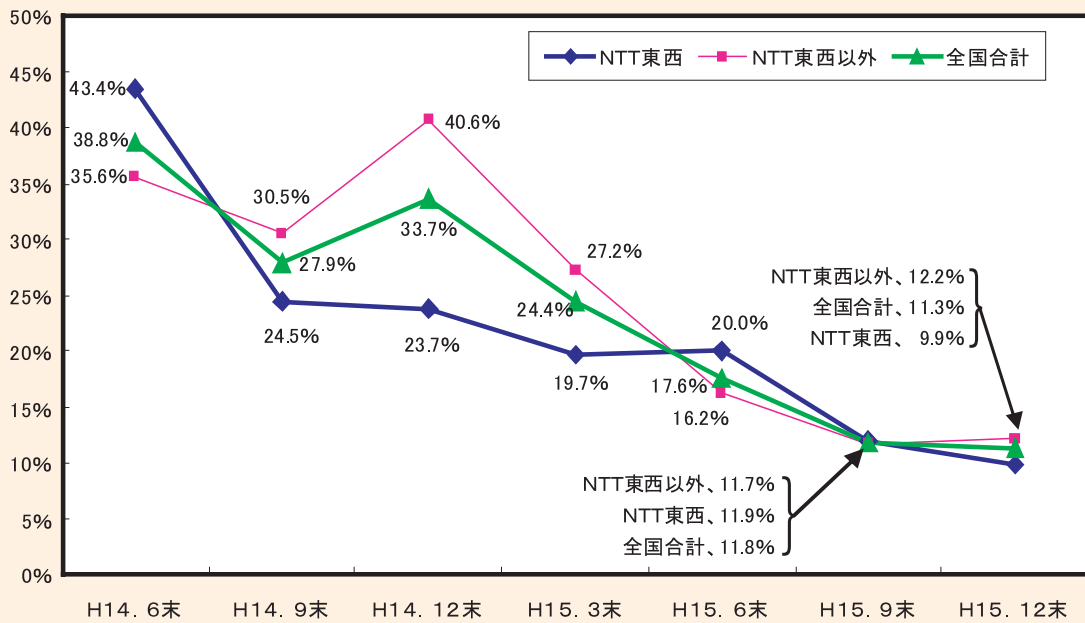
NTT東日本：北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野の各都道府県

NTT西日本：NTT東日本の業務区域以外の各府県

3-3 全国のADSL契約回線数増加率(対前四半期)の推移

ADSLの対前四半期増加率は、全体的に通減傾向にあるが、全国合計でみた増加率(平成15年10月~12月期末)は10%を超えている。

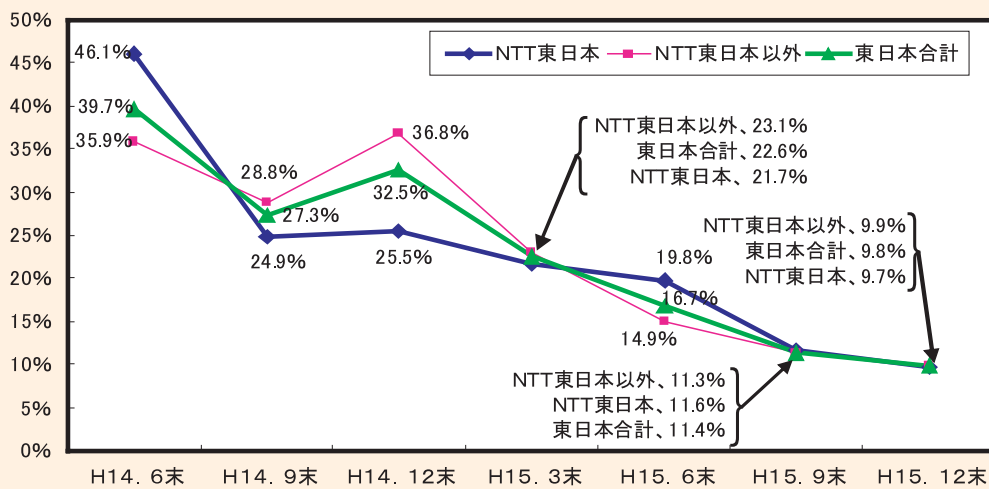
○ 全国のADSL契約回線数増加率(対前四半期)の推移



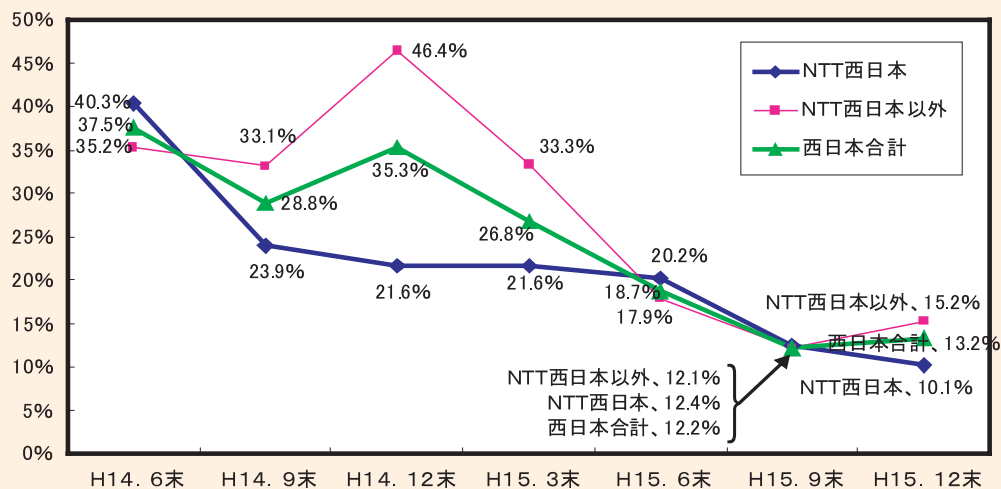
3-4 東日本・西日本地域別のADSL契約回線数増加率(対前四半期)の推移

ADSLの対前四半期増加率(平成15年10月~12月期末)は、東日本が10%、西日本が13%で西日本市場の伸びが少し高い。東日本では、NTT東日本とそれ以外の事業者の間にほとんど差がない。

○ 東日本におけるADSL契約回線数増加率(対前四半期)の推移



○ 西日本におけるADSL契約回線数増加率(対前四半期)の推移

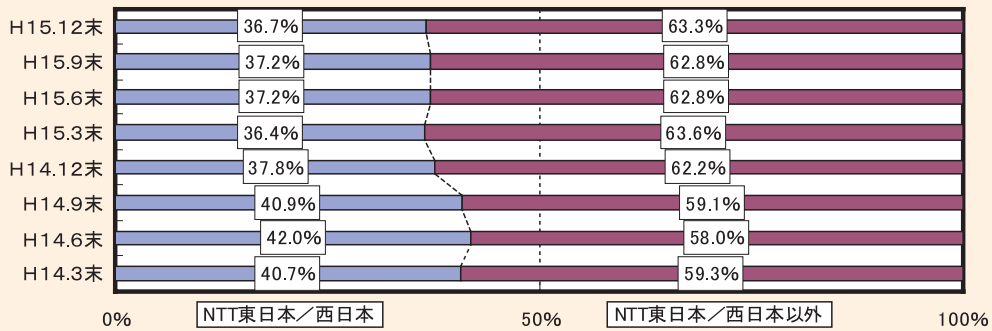


(※) 総務省の公表資料に基づき作成。

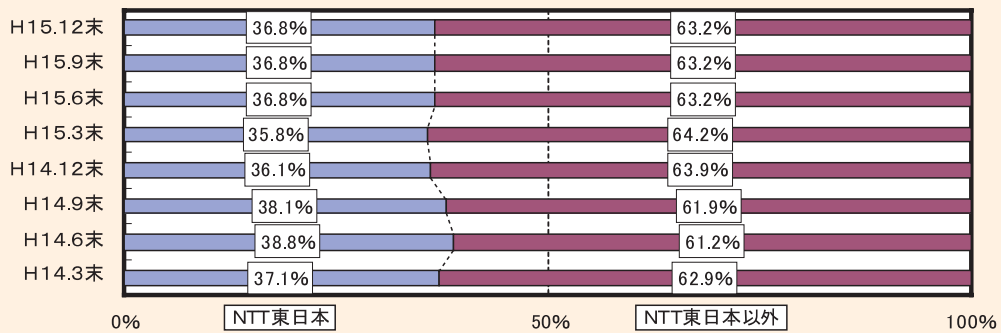
3-5 NTT東西のADSL契約回線数シェアの推移

ADSLの契約回線数に占めるNTT東西のシェアは約37%。平成14年6月末から平成15年3月末まで減少を続けたが、その後36~37%の間で推移している。ADSLの契約回線数に占めるNTT東日本/NTT西日本それぞれのシェアは、いずれも約37%。NTT東日本のシェアは、ほぼ一定に推移しているが、NTT西日本のシェアは、一時期減少後、平成15年度に入ってから安定している。

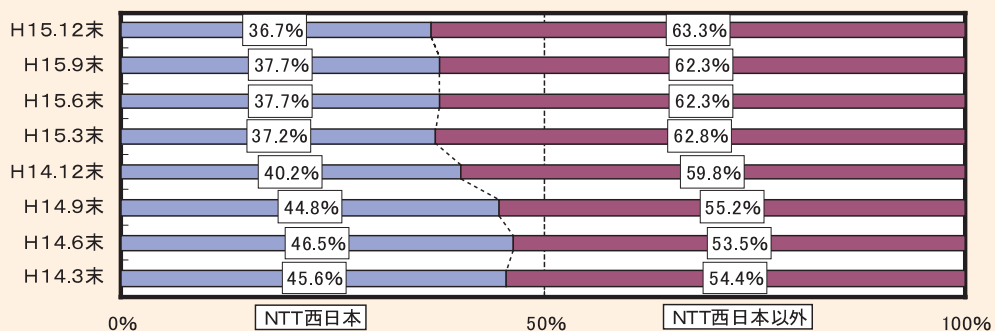
○ NTT東西の契約回線数シェアの推移(全国)



○ NTT東日本の業務区域における契約回線数シェアの推移



○ NTT西日本の業務区域における契約回線数シェアの推移



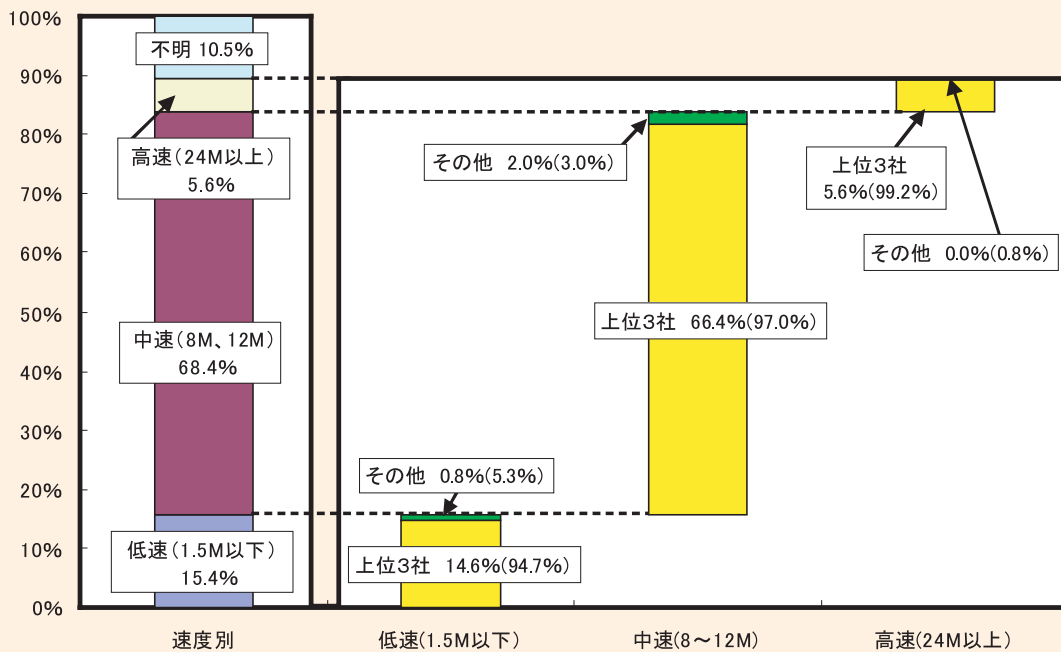
(※) 総務省の公表資料に基づき作成。

3-6 ADSLの速度別契約回線数の内訳

全国のADSLの契約回線数のうち、最も利用が多い速度区分は中速（8M、12M）で、その割合は全体の約2/3。

平成15年9月末	低速（1.5M以下）	中速（8M、12M）	高速（24M以上）
速度別割合	15.4%	68.4%	5.6%

○ 全国のADSL速度別契約回線数の状況
(平成15年9月末)



- (※1) 総務省の公表資料及び平成15年度の電気通信事業分野における競争状況に関する調査（様式第6）に基づき作成。
- (※2) 図中、（ ）内の数値は、各速度内でのシェアを示す。また、「上位3社」は、各速度別の契約回線数で上位3位までの事業者の合計シェアを示す。
- (※3) 速度別内訳は、当該速度別内訳データを提出した事業者のみのデータを用いて計算。なお、ソフトバンクBBは、速度別の契約回線数データが平成15年12月末のみの提出であったため、平成15年9月末の速度別内訳は、平成15年12月の速度別内訳の割合と同じと仮定し、推計している。また、アッカ・ネットワークスは、速度別契約回線数に関するデータ提出がないため「不明」に分類しているが、その結果、速度別シェアは実際よりも小さく、上位3社シェアは実際よりも大きくなっている。

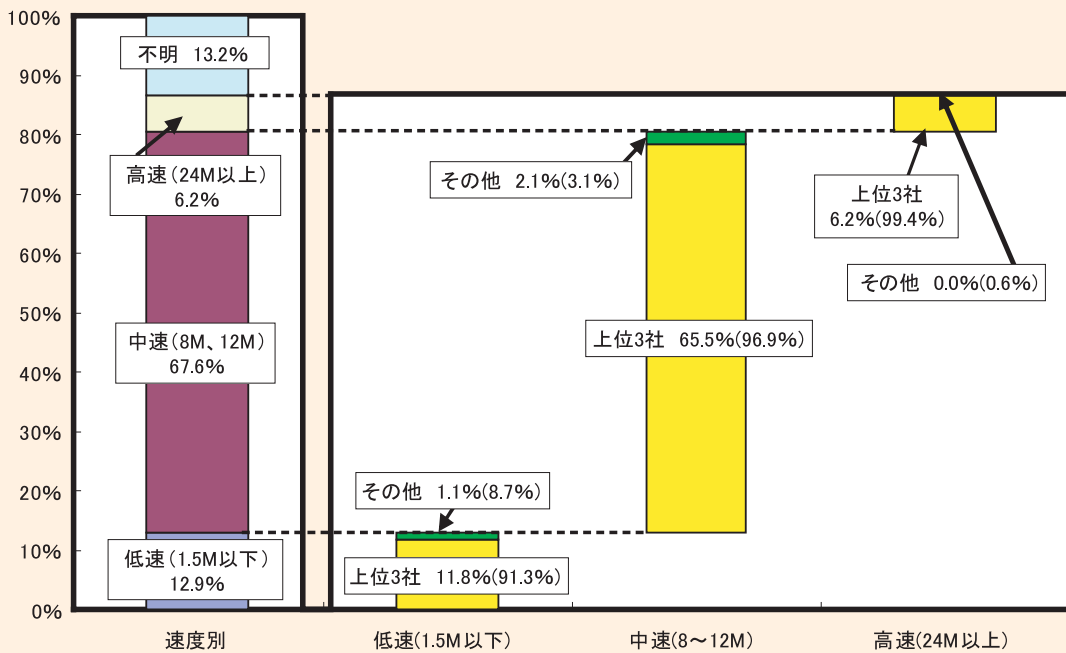
3-7 東日本のADSL速度別契約回線数の内訳

東日本のADSL契約回線数のうち、最も利用が多い速度区分は中速（8M、12M）で、その割合は約68%。低速の割合は全国合計と比べて2ポイント低く約13%だが、傾向は西日本と大きく変わらない。

平成15年9月末	低速（1.5M以下）	中速（8M、12M）	高速（24M以上）
速度別割合	12.9%	67.6%	6.2%

○ 東日本のADSL速度別契約回線数の状況

（平成15年9月末）



(※1) 総務省の公表資料及び平成15年度の電気通信事業分野における競争状況に関する調査（様式第6）に基づき作成。

(※2) 図中、()内の数値は、各速度内でのシェアを示す。また、「上位3社」は、各速度別の契約回線数で上位3位までの事業者の合計シェアを示す。

(※3) 速度別内訳は、当該速度別内訳データを提出した事業者のみのデータを用いて計算。なお、ソフトバンクBBは、速度別の契約回線数データが平成15年12月末のみの提出であったため、平成15年9月末の速度別内訳は、平成15年12月の速度別内訳の割合と同じと仮定し、推計している。また、アッカ・ネットワークスは、速度別契約回線数に関するデータ提出がないため「不明」に分類しているが、その結果、速度別シェアは実際よりも小さく、上位3社シェアは実際よりも大きくなっている。

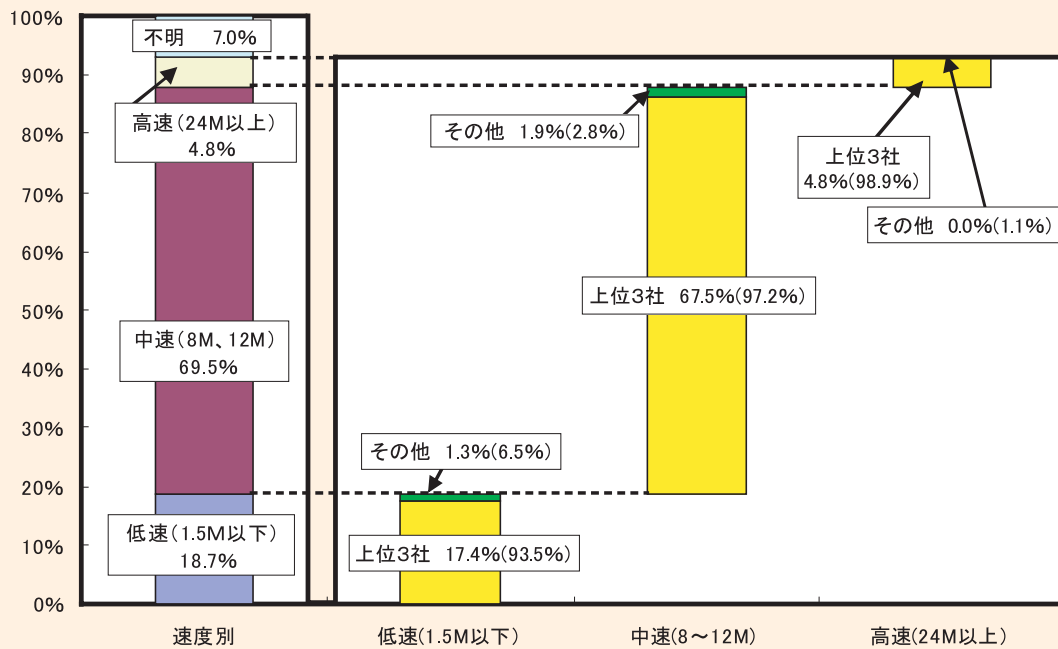
(※4) 「東日本」の範囲は、NTT東日本の業務区域。

3-8 西日本のADSL速度別契約回線数の内訳

西日本のADSL契約回線数でも、中速の割合が高く約70%。高速の割合が全国平均と比べて1ポイント低く約5%、低速の割合は4ポイント高く約19%を占める。

平成15年9月末	低速(1.5M以下)	中速(8M、12M)	高速(24M以上)
速度別割合	18.7%	69.5%	4.8%

○ 西日本のADSL速度別契約回線数の状況
(平成15年9月末)

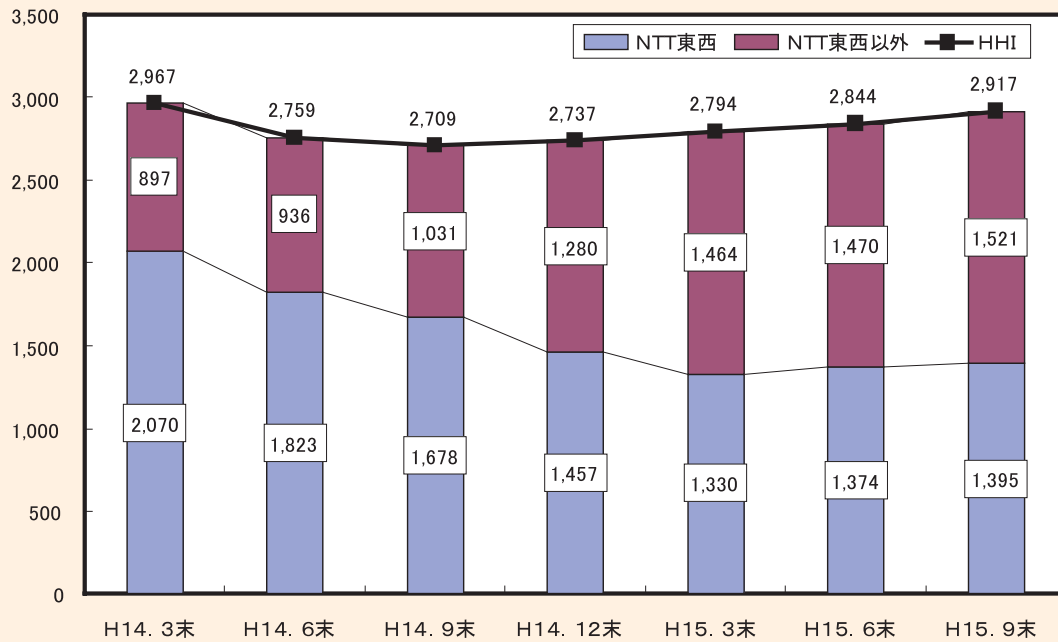


(※1) 総務省の公表資料及び平成15年度の電気通信事業分野における競争状況に関する調査(様式第6)に基づき作成。
 (※2) 図中、()内の数値は、各速度内でのシェアを示す。また、「上位3社」は、各速度別の契約回線数で上位3位までの事業者の合計シェアを示す。
 (※3) 速度別内訳は、当該速度別内訳データを提出した事業者のみのデータを用いて計算。なお、ソフトバンクBBは、速度別の契約回線数データが平成15年12月末のみの提出であったため、平成15年9月末の速度別内訳は、平成15年12月の速度別内訳の割合と同じと仮定し、推計している。また、アッカ・ネットワークスは、速度別契約回線数に関するデータ提出がないため「不明」に分類しているが、その結果、速度別シェアは実際よりも小さく、上位3社シェアは実際よりも大きくなっている。
 (※4) 「西日本」の範囲は、NTT西日本の業務区域。

3-9 ADSLの市場集中度(HHI)の推移

ADSLの契約回線数によるHHIは、平成14年9月末から反転上昇が続いている。

○ ADSLの市場集中度(HHI)の推移



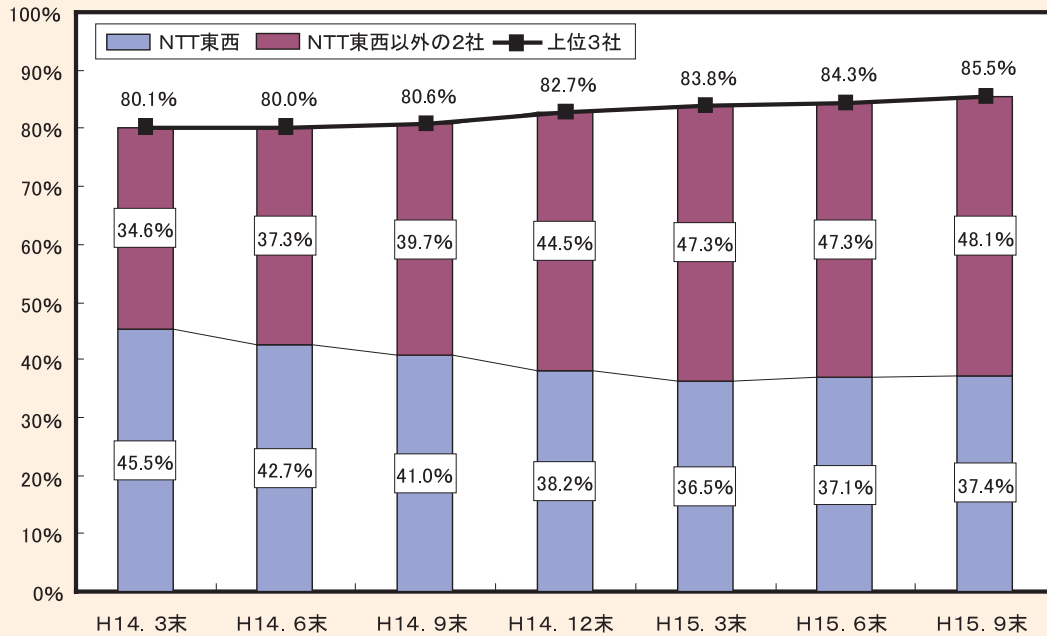
(※1) 平成15年度の電気通信事業分野における競争所見に関する調査(様式第6)に基づき作成。

(※2) HHIを計算する際、業務区域が完全に分かれていて利用者にとってはいずれか一方のサービスしか選択肢にならないので、本来は東日本と西日本を分けてHHIの推移を示すべきだが、アッカ・ネットワークスなどの一部の事業者から都道府県別データが得られなかったこと等から、ここでは同一持株会社下の完全子会社(NTT東日本、NTT西日本)を一社とみなして合算し、全国を一つの市場として算出。

3-10 ADSLの契約回線数による上位3社のシェア合計の推移

ADSLの契約回線数による上位3社（NTT東西、ソフトバンクBB、イー・アクセス）のシェア合計は80%を超えており、なお緩やかな上昇基調にある。

○ ADSLの契約回線数による上位3社のシェア合計の推移



(※1) 平成15年度の電気通信事業分野における競争所見に関する調査（様式第6）に基づき作成。

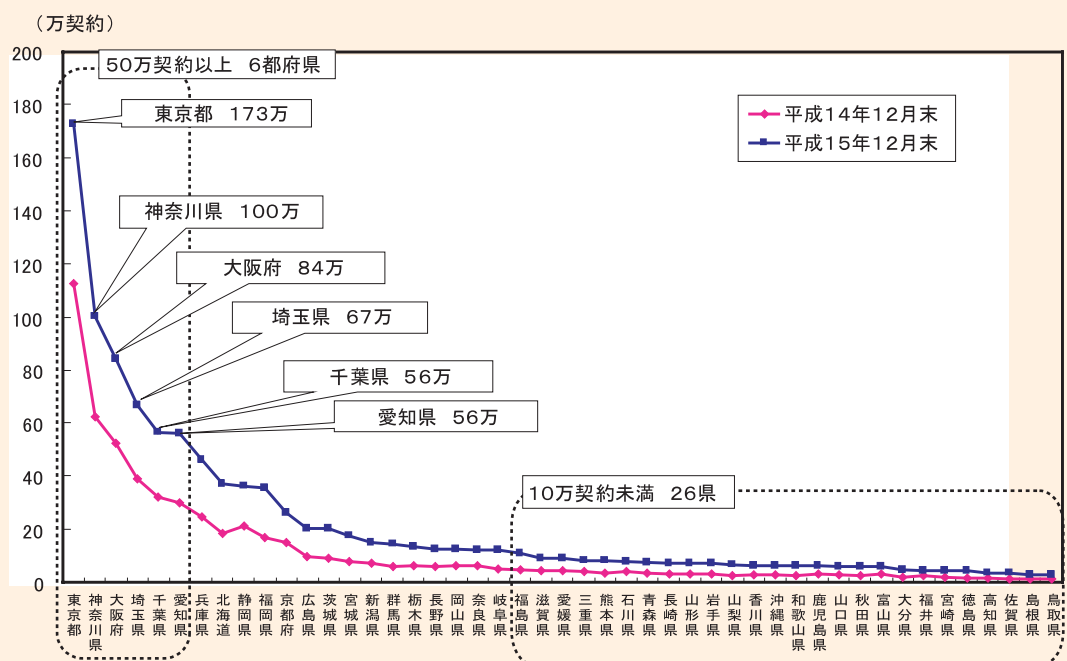
(※2) 上位3社シェアを計算する際、業務区域が完全に分かれていて利用者にとってはいずれか一方のサービスしか選択肢にならないので、本来は東日本と西日本を分けて上位3社シェアの推移を示すべきだが、アッカ・ネットワークスなどの一部の事業者から都道府県別データが得られなかったこと等から、ここでは同一持株会社下の完全子会社（NTT東日本、NTT西日本）を一社とみなして合算し、全国を一つの市場として算出。

3-11 ADSLの都道府県別契約回線数

ADSLの契約回線数は、173万の東京都を筆頭に、6都府県で50万を上回る。一方、10万契約未満は26県を数える。

○ ADSLの都道府県別契約回線数の状況

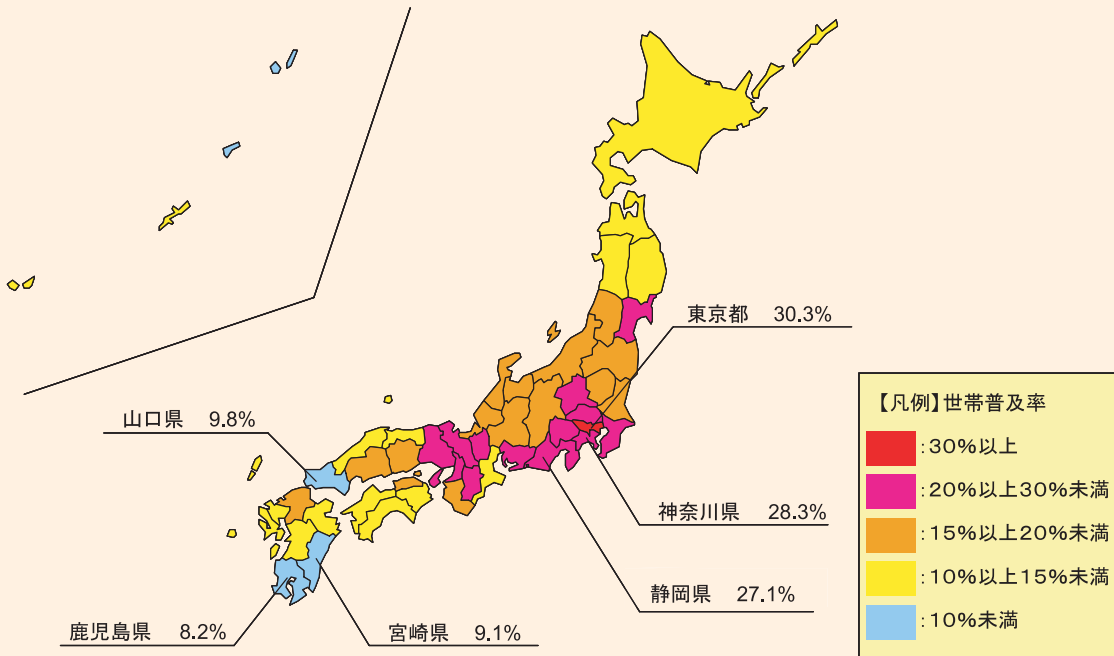
(平成14年12月末／平成15年12月末)



3-12 ADSLの世帯普及率の地域差

ADSLの世帯普及率は、東京都の30.3%を筆頭に20%~30%が神奈川県、静岡県、埼玉県、京都府等の13府県となっており、宮城県を除き、関東、近畿、東海地域に集中。

○ ADSLの都道府県別世帯普及率
(平成15年12月末)

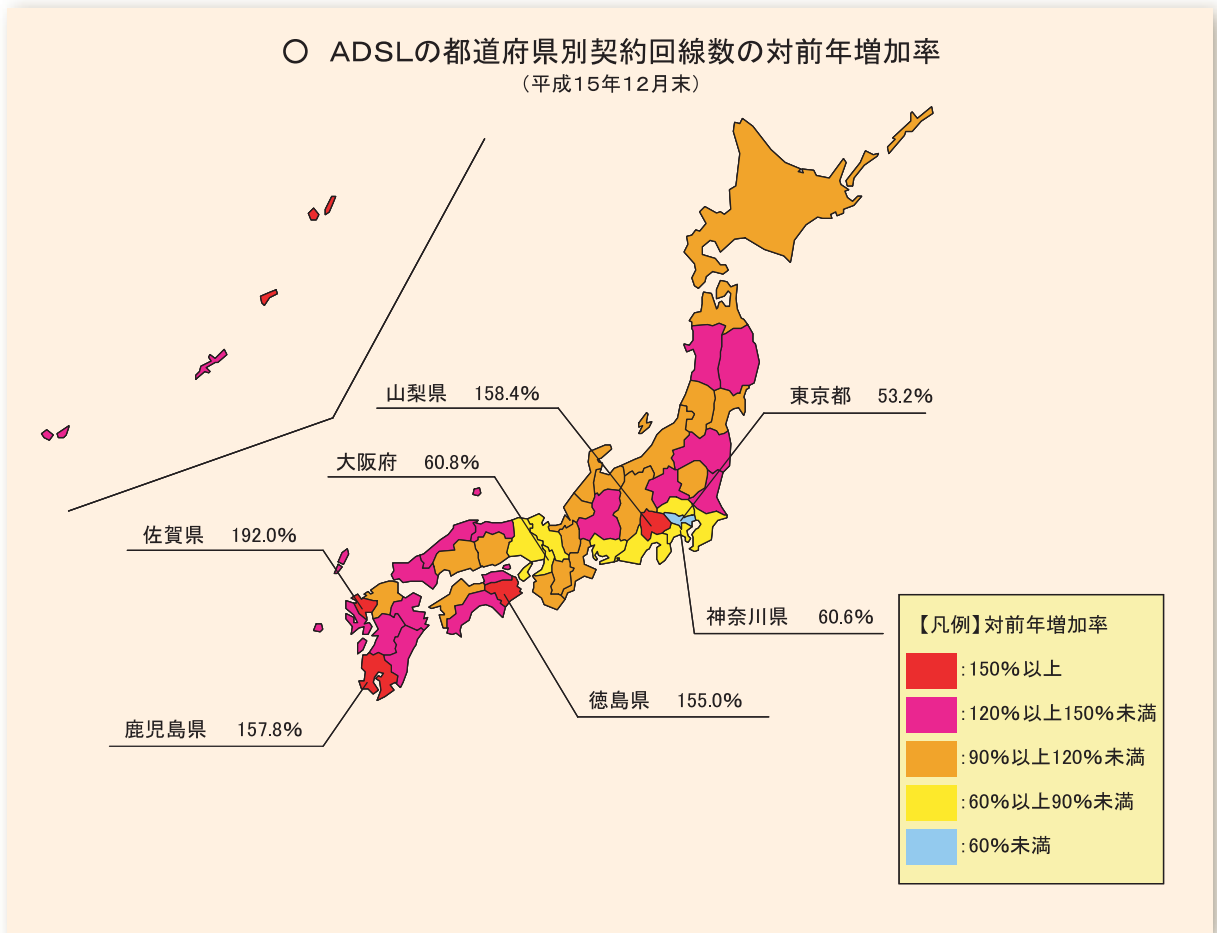


(※1) 総務省の公表資料に基づき作成。

(※2) 世帯普及率は、「住民基本台帳人口要覧」(総務省)の平成15年3月時点の世帯数により試算。

3-13 ADSLの都道府県別契約回線数の対前年増加率

ADSLの契約回線数の対前年増加率は、最低が東京都の53%で、大阪府、神奈川県がそれに次ぐ。最高は佐賀県の192%で、鹿児島県、徳島県などの主に世帯普及率の低い県で高い増加率を示す傾向にある。

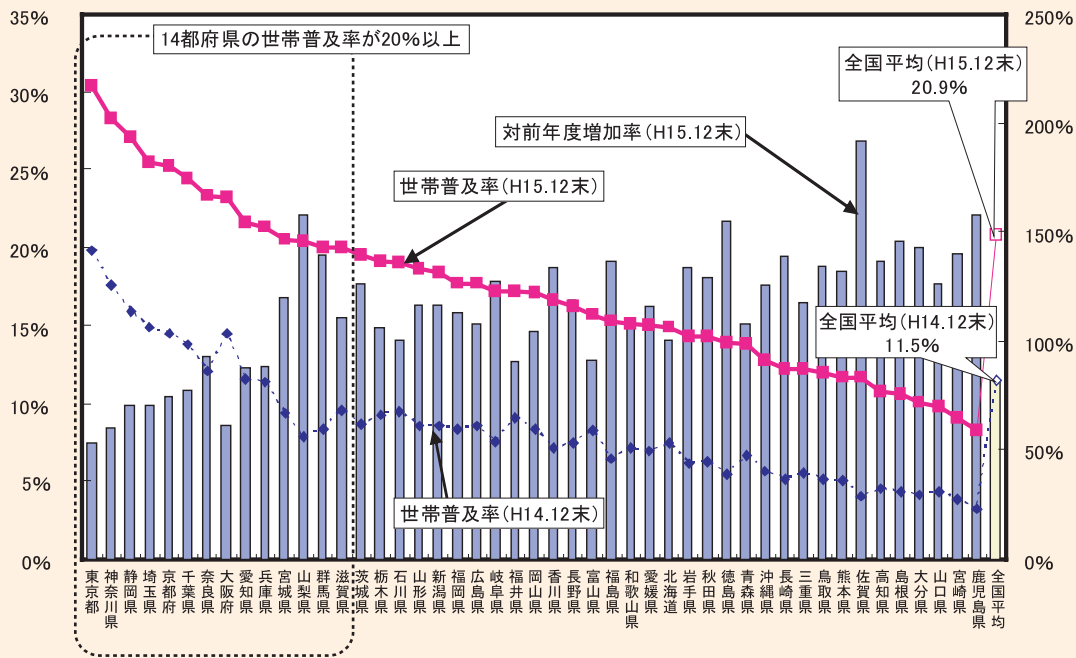


3-14 ADSLの都道府県別世帯普及率及び対前年増加率

東京都の30%から鹿児島県の8%まで幅は大きく、全国平均は21%。44都道府県で10%、14都府県で20%、さらに東京都では30%を上回る。

- 世帯普及率：
 - 平成14年12月末 15%超 3都府県 / 10%超 10都府県
 - 平成15年12月末 30%超 東京都 / 20%超 14都府県 / 10%超 44都道府県
- 対前年増加率：
 - 最低の東京都で53%、佐賀県の192%を最高に4県で150%超。

○ ADSLの都道府県別世帯普及率及び対前年増加率
(平成14年12月/平成15年12月)



(※1) 総務省の公表資料に基づき作成。
(※2) 世帯普及率は、「住民基本台帳人口要覧」(総務省)の平成15年3月現在の世帯数を用いて試算。

3-15 ADSLの都道府県別契約回線数に占めるNTT東西のシェア

NTT東西のシェアは、全国的に下降基調にある。下位10都府県は、奈良県、大阪府、神奈川県、埼玉県、京都府、兵庫県、東京都、愛知県、千葉県、静岡県で、東名阪地域が中心。一方で、山形県、山口県、秋田県では、NTT東西のシェアが70%を超えており、地域によって大きな差がある。

- NTT東西のADSL契約回線数のADSL全体に占めるシェアが50%以下の地域：19都府県（平成15年12月末）
- NTT東西のADSL契約回線数のADSL全体に占めるシェアが70%以上の地域：3県（平成15年12月末）

○ NTT東西の都道府県別契約回線数シェアの推移
(平成14年12月/平成15年12月)

